

International Literacy Day

1965年9月8日から、イランでテヘラン会議が開催されました。そこでバーレーン国王が各国の軍事費1日分を識字基金に充てることを提案したことをきっかけに作られた、識字の重要性を強調するための記念日です。

字が読めないって、どういうこと？

そもそも「識字」とは何でしょうか？…それは、「文字の読み書きができること」です。私たち日本人は、小学校に入る前から文字の読み書きを練習するため、これは当たり前のことかもしれません。しかし、世界を見渡すとこれは珍しいことでもあります。まずは、字が読めないとはどういうことなのか、少し体験してみましょう。

あなたの家族が高熱で苦しんでいます。近くに病院がなく、お店で薬を買うしか方法がありません。店員は一日外出しているため、薬をとって、その代金を置いていくことにしました…

(答えは下にあります)



店の棚には、3つのビンが置いてあります。中身は薬、水、そして農薬(毒)です。さあ、あなたはどれを選びますか？薬以外を選んだら、どうなりますか…？

字が読めないと、どうなるの？

「字が読めない」ということが少しでも分かったでしょうか？字が読めないことは、読書や勉強ができないだけでなく、命の危険に関わることなのです。ここで、私たちFTCJの活動国の中で、最も識字率の低い国、シエラレオネを紹介します。



シエラレオネは西アフリカにあり、世界一寿命が短い国として知られています。52%もの人が一日1.25ドル以下で生活しています。

	シエラレオネ	日本
成人識字率	44%	100%
出生時の平均余命	45歳	83歳
5歳未満児死亡率順位	1位	185位
安全な水を利用できる比率	57%	100%
衛生施設を利用できる比率	13%	100%

(差 `皇 `平C(4平…と景)

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・シエラレオネと日本の違いを家族や友達に伝えよう！
 - ・どうして識字率が低くなってしまったのか、話し合ってみよう！
- FTCJは、あなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をオススメしています。自分だからこそできる国際協力、一緒に探しませんか？

アクションのヒントはコチラ！

FTCJ 活動のヒント



Together,
WE change the world.

